

## 短詩型文学祭作品募集

坂城町と千曲市で構成する更埴公民館運営協議会では、第27回更埴地区短詩型文学祭を開催します。応募要領と投稿用紙は坂城町公民館にあります。入賞者には、表彰状と記念品を贈呈しますので奮ってご投稿ください。

**募集期間:** 7月1日(金)～8月31日(水)

**募集部門:** 短歌・俳句・川柳・現代詩

**投稿料:** 応募用紙1枚につき400円  
(小・中・高校生は無料)

**投稿先:** 坂城町公民館



## さかきふれあい大学教養講座

### 「♪ピアノ×写真×アロマ♪ 五感で楽しむ癒しのコンサート」

写真家岡田光司さんの作品をスクリーンでご覧いただきながら、風景からイメージする曲を作曲家美馬佳世さんがピアノで演奏します。写真や演奏にあわせてふわっと香る優しいアロマの香りもお楽しみください。

**日時:** 10月22日(土) 14:00～15:30

**会場:** 坂城町文化センター 大会議室

**受講料:** 無料

**出演:** 美馬佳世さん(ピアノ)

岡田康子さん(ナレーション)

山崎あき子さん(アロマ)



美馬佳世さん



岡田康子さん



山崎あき子さん

講座及び各教室の詳細は「まなびの玉手箱」をご覧ください。 問い合わせ先 電話82-2069(文化センター)

## 説 館 開 かい 歌 せ

梅雨の時期になりました。梅雨の時期の花と言え、アジサイを思い浮かべる方も多いのではないのでしょうか。雨に濡れていても、アジサイの淡い青色や紫色の花が映えます。

アジサイの花といえば、花が集まって膨らみがあるようなイメージを思い浮かべるのではないのでしょうか。アジサイの花は、装飾花と真花で構成されています。花びらのように見えるものは、多くの人が花だと考えているものは、装飾花の「萼片(がくへん)」と呼ばれ、一般的に「がく」と呼ばれる部分の葉が変形したもので、本当の花ではありません。花房の中心部分にあり、小さなつぼみのようなものが真花になります。

日本原産のガクアジサイでは、花房の中心付近にある小さなつぼみのように感じる点々が真花で、その周辺に並んでいる大きな花びらのようなものが装飾花になります。

アジサイを漢字で書くと、「紫陽花」となります。しかし、色がさまざまに変化することから、「七変化」と書くこともあります。アジサイの花の色は、土壌の酸性度によって変わります。一般に、「酸性ならば青色、アルカリ性ならば赤

色」になると言われています。日本の街中でよく見かけるアジサイは、淡い青色や紫色の花が多いのは、日本が火山大国であるため、酸性の土壌が圧倒的に多いということからです。赤い花を咲かせたい時には、土壌をアルカリ性にします。卵の殻を細かくパウダー状にして、アジサイに撒けば、赤色のアジサイの花を咲かせることができます。

同じ種類のアジサイでも、土壌の酸性度によって、色が変わります。環境によって、全く異なる色になってしまいます。環境によって変わってしまうものは、アジサイだけではありません。私達人間も環境によって大きく変わってしまいます。ウクライナ侵攻を進めているロシア人とウクライナ人は、同じ東スラブ人の民族です。しかし、住んでいる国の環境によって、その考え方は大きく変わってしまいました。ウクライナ軍事侵攻には、アジサイの花の色を変えるような特效薬はないのでしょうか。世界の人々の英知が求められています。一日でも早く平和が訪れることを強く願うばかりです。(T・T)

### 参考文献

武田幸作著

『アジサイはなぜ七色に変わるのか?』  
(PHP研究所)

